

いきいきシニアライフを応援します

知っておこう！

ごえんせい

高齢者に多い 誤嚥性肺炎 ってどんな病気？

なぜ、食べ物が肺に流れるの？

教えて！
緒方さん

□嚥下機能と誤嚥

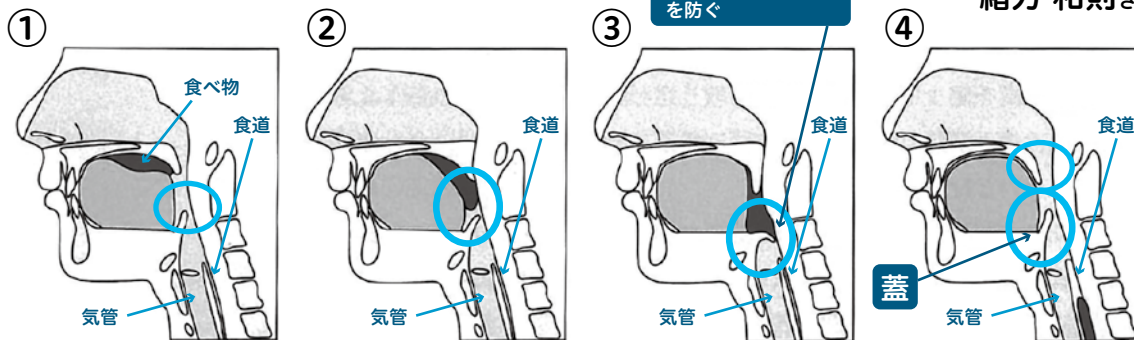
物を飲み込む働きを嚥下機能、口から食道へ入るべきものが気管に入ってしまうことを誤嚥といいます。



諸隈病院 言語聴覚士

おがた かずのり
緒方 和則さん

□飲み込み（嚥下）の流れ



① 嚥で飲み込みやすくなった食べ物は、舌の動きで口の奥へ移動します。

② 口を閉じ、食べ物が鼻の方へ行かないように鼻と口の通路が塞がります。

③ ②と同時に、舌が勢いよく上顎（口蓋）に向かって押し上がり、口の中の圧が高まります。

④ ③が起きると、食道と隣り合う気管に食べ物が入り込まないように、蓋（喉頭蓋）がされます。食べた物が食道に送り込まれます。

【引用文献】最新歯科衛生士教本「高齢者歯科」（医歯薬出版）より

食べるたびに上のような飲み込み（嚥下）を無意識に行っていますが、嚥下機能が弱まり蓋がしっかり閉まらなくなると、食べ物が肺に流れ込み（誤嚥）、誤嚥性肺炎を引き起こしてしまいます。

□あなたは大丈夫かな？確認しよう！

◎かみ合わせはしっかりしているかな？

ゴクン（嚥下反射）が起きる時（③の場面）、奥歯がしっかりと噛み合うことが重要です。歯がないと隙間ができてしまうので、入れ歯を適切に使いましょう。

◎むせてないかな？

奥歯がないとしっかりと噛み締められず、口の中の圧が弱くなり、食べ物が気管へ入って、むせる場合があります。むせが多くなると、誤嚥性肺炎の原因になります。



【次回は、誤嚥性肺炎の兆候と予防法を紹介します】